

# かわきた

橘小学校  
リニューアルプールで  
ざぶん!

- 6月議会定例会……………P2
- 委員会審議Q&A……………P4
- 町政を問う……………P5



# 令和2年第3回(6月)議会定例会 10日～18日

令和2年第3回(6月)議会定例会では、専決処分の報告4件、関連して、繰越明許計算書の報告1件、公社の経営状況の報告2件、補正予算2件、条例・規約の改正3件の合わせて12件が上程、各常任委員会で審査され、すべて原案通り全員賛成で可決しました。人事案件については初日に採決し同意しました。

## 新型コロナウイルス 感染拡大防止対策費など補正



### 一般会計補正予算(6月議会)

千円

民生費	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費 (マスク・消毒液購入)	628
衛生費	白山石川医療施設組合病院負担金(特殊勤務手当負担金)	798
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費 (備蓄用マスク 消毒液 購入)	4,460
商工費	川北町持続化給付金	12,011
土木費	町道整備工事費	6,000
教育費	小中学校情報機器購入費等(タブレット購入)	37,100
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費	780
	学校臨時休業違約金(給食牛乳)	207
	川北小学校プール耐震補強工事費等	156,016
	人材育成基金積立金(株まるよりからの寄附金)	2,000

○令和2年度一般会計補正予算  
総額 220,000千円

令和2年度  
川北町一般会計補正予算

### 特別会計補正予算(6月議会)

千円

保険 給付費	傷病手当金 (新型コロナウイルス感染症に感染もしくは感染が疑われる方がいた場合に、傷病手当を支給する費用に)	1,200
-----------	---	-------

○令和2年度国民健康保険特別会計補正予算  
総額 1,200千円

川北町特別会計補正予算

## 5月議会臨時会 8日

○令和2年度一般会計補正予算  
総額 680,000千円

○特別職の職員の給与等に関する  
条例の一部を改正する条例

令和2年5月1日から令和3  
年3月31日までの間月額給料を  
町長20%副町長及び教育長10%  
を減額する改正

## 議員提出議案

○川北町議会議員の議員報酬に関  
する特例措置条例について  
子育て世帯への支援策の財源  
に充てる為、令和2年5月1日  
から令和3年3月31日までの  
間、議員報酬の10%を減額する。

## 人事

●教育委員会委員

新谷 浩 氏  
(新任)

●公平委員会委員

畔地 勇夫 氏  
(再任)

●人権擁護委員

畑中 敦子 氏  
(再任)

●固定資産評価員

吉岡 友次 氏  
(新任)

●農業委員会委員

(届出順)

山村尚一(上先出)  
小島由秋(三反田)  
川北重信(木呂場)  
西村憲人(橘)  
林 幸雄(杏ツ屋)  
魚尾幹夫(橘新)  
北 良一(上田子島)  
中丸知幸(下田子島)  
披岸智範(下先出)  
前 庄治(朝日)  
西田 浩(草深)  
吉岡公次(中島)  
作田 悟(与九郎島)  
辰野義則(舟場島)  
大口正洋(土室)

## 川北町一般会計補正予算(5月臨時会) 千円

総務費	特別定額給付金事業費(町民1人当たり10万円)	623,935
民生費	子育て世帯への臨時特別給付金 (児童手当受給者1人当たり1万円)	11,900
	ひとり親家庭等臨時特別給付金 (児童扶養手当受給世帯に2万円)	715
衛生費	次亜塩素酸水生成器・噴霧器費用	1,950
商工費	新型コロナウイルス感染症対策信用保証料補助金	5,000
	中小企業緊急経営支援利子補給補助金	3,000
	子育て応援商品券支給事業費補助金 (高校3年生まで1人当たり2万円)	32,000
	石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金 負担金	1,500

NEXT

委員会審議 Q & A

# 委員会審議

主なもの

## Q & A

### 総務産業常任委員会

Q 長期優良住宅とは。

A 耐震性や断熱など省エネルギー対策をされているもので、国が定めた優良住宅認定制度の基準をクリアし、行政の認定を受けた住宅です。

Q 町の持続化給付金の対象要件は。

A 対象期間内の売上減少分が20%から50%未満となった事業者への支援を考えています。

Q 業種によっては、今から業績が落ち込んでくるので、企業調査を行って対策を考えてほしい。

A 今回調査を行いました。現状とこれから先の状況は違うので、改めて調査を行ったうえで、

町と商工会が連携し、対策を検討します。

### 教育民生常任委員会

Q プールの改修に合わせ、防水水槽として利用できるように吸水口の機能改修をできないか。

A 総務課と調整し検討します。



吸水口を備えたプール



川北温泉の池で泳ぐカルガモ

Q GIGAスクール構想の中で生徒児童一人当たり1台の端末を与えどんな授業を展開するのか。

A 詳細なことについてはこれから教員と研究会を創り検討します。

Q 給食食材のキャンセル料はなかったのか。

A キャンセル料の対象は牛乳とパン・ご飯です。パンについては消費しており、ご飯については自校炊飯の為、牛乳だけです。

Q 特別定額給付金の申請のために、マイナンバーカードの申請はあったか。

A 申請はその都度ありましたが、特別定額給付金のためというのはあまりなかった。5月末のカードの交付人数は、980人で交付率は、15・65%、19市町の中で3番目に高い数値です。

Q 大学生で国民健康保険に加入している人は傷病手当の対象者か。

A 大学生でアルバイトをしている方は、感染もしくは感染の疑いがあった場合は、対象です。



カルガモ親子



# 問 多目的運動公園(仮称)整備は

答 町 長 改めて整備検討委員会を開催



窪田 博 議員

Q 昨年12月、地元地権者の説明会で農用水の確保や用地買収時期等、いろいろな意見があった。

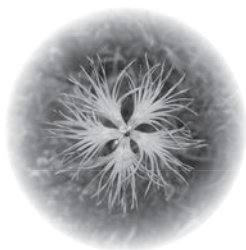
町民にとっても念願の大事業であり、町民へのパブリックコメントを実施し、町広報などで、計画概要を広報すべきでないか。

計画で十分な駐車場が確保されているか。又、公園周辺に通学路があり、集落にも隣接し、適切な交通標識の設置、サッカー練習等の夜間照明などの周辺対応について問う。

A 基本設計は区長会等町内各層で構成する「整備検討委員会」で、町民目線での意見を取り入れ計画した。今後、改めて委員会を開催し、意見を伺い、町広報やホームページに掲載し広報する。

駐車場の確保は、日常的に利用する台数を想定しており、新たな駐車場の必要性については、その状況を見ながら、今後検討する。

通学路の安全対策は、学校や警察と協議し、十分な安全対策を講じ、また、夜間照明は、設置場所及び点灯時間など、地元の意見を十分に配慮した対策を講じる。



カワラナデシコ

## 問 コロナ感染の学校対策は

答 教育長

### インターネット環境調査を実施

Q 今年3月からの長期間の休校中、在宅生徒にどのような対応がなされたのか。

6月補正で全児童生徒にタブレット端末を配備するための追加予算を計上したが、コロナ感染が再燃し長期休校が生じた場合、スピーディに自宅でのオンライン授業が可能なのか。

A 休校中は、配布した課題プリントや、国や県が推奨したインターネット動画等も併せて学習を進め、家庭学習で定着が不十分な部分は、分散登校時や学校再開後の授業の中で、指導を行った。

今後は、家庭のインターネット環境を早急に調査し、環境が整っていない家庭へタブレット

端末や通信機器「モバイルルーター」の貸し出しについても前向きに検討したい。

## 問 コロナ感染の中小企業対策は

答 産業経済課長

### 緊急影響調査を継続的に実施

Q 5月臨時議会と6月議会で、町内の中小企業者に対し、町独自の補助制度を打ち出したが、飲食店等の零細な小規模事業者に対する支援施策は十分なのか、また、町商工会や個人事業主の実態を把握しているのか。

A 売上が前年同期比20%以上50%未満減少した法人・個人事業主に対して給付される町独自の持続化給付金や川北町子育て応援商品券支給事業など、多様な施策を講じている。事業主の実態把握は、町商工会と連携した調査の継続的な実施と分析から、今後の有効な施策の検討に努める。

NEXT

町政を問う (いっぱん質問)

## 問 授業時数の確保は

答

教育長

適切な行動がとれるように指導

**A** 小中学校の休業により、失われた授業日数は約32日となる。そのため、夏季期間の7月21日から8月28日の平日18日間と、冬季休業の2日間を授業日とする。時間

**Q** 学校の授業時数の確保と子供たちの学校生活について、この新型コロナウイルスの影響により、すでにどれほどの授業時数が削減され、どのような対策がとられるのか。その授業確保によって学校行事等への影響はないのか、また、児童生徒への負担、教職員への多忙化につながらないか。新型コロナウイルス対策として、今後の3密を避けた学校生活についてどのように指導していくのか。



山田勝裕 議員

割編成を工夫し、週1回の5限日を6限にしたり、朝の帯タイムを活用することで、ほぼ回復することが出来ると考えている。

当然のことながら、感染症対策を十分に講じ、児童・生徒及び教職員の負担につながらないように配慮している。

運動会や文化祭、修学旅行等の学校行事については、「3密」を避ける等の安全確保を優先として、中止、延期、規模縮小を学校側と十分に協議をしていきたい。

今後は、感染症予防対策に万全を期し、特別教室やランチルームを使う、こまめな換気に努める等、感染リスクを避ける「新しい生活様式」を児童・生徒が正しく理解し、適切な行動がとれるように指導していく。



次亜塩素酸水の配布

## 問 衛生対策の実績と取り組みは

答

町長

適切に対応し安全安心に努める

**Q** 新型コロナウイルス対策として、次亜塩素酸水生成器を導入し、学校や公共施設での活用をはじめ、保健センター前では、定期的に町民の皆様無料提供してきた。これまでの町民への提供、利用実績と反応はどうであったのか。また、福祉課ではマスク不足の時期に高齢者に向けてのマスクの無料配布を実施してきた。その実績と評価、さらに、今後の第2波に向けての衛生対策として、どのような取り組みを考えているのか。

あり、身のまわりを清潔にするための除菌に、安心して利用して頂きたい。

高齢者へのマスクについては、4月に、一人暮らしの60名に見守りを兼ねて、民生委員の方々にマスクの配布をして頂き、5月には、65歳以上の高齢者1,404人、907世帯に、マスクとリーフレットを届けた。大変喜ばれ、感謝の声がよせられている。

今後、第2波が懸念される中、必要な衛生対策を講じながら、引き続き町民が、安全で安心して暮らせる町づくりを進めていく。

これまでに町内の個人、企業の皆様方から多くのマスクやフェイスシールドなどの提供を頂きましたことにお礼と感謝を申し上げます。

**A** 次亜塩素酸水は、現在、公共施設で利用し、また、町内事業所や町民の方には週2回、保健センター前にて配布している。毎回30人から40人が利用している。町が提供している「次亜塩素酸水」は「強酸性の電解水」で

# 問 災害応援協定の計画は

答 町 長 感染防止策等に関連した協定の締結



田中秀夫 議員

**A** 町は、国や県、近隣の市町及び、消防組織のほか、電気保安協会、町建設連合会、ヤマキシなど、21件の多種多様な業種の団体と災害応援協定を締結し

**Q** 最近、局地的な豪雨があちこちであり、多くの災害が発生しており、もしも災害に遭ったときは、一刻も早い復旧・復興をしなければならぬ。そんな時、民間の協力がなくてはならないと考える。町では、県や他市町との災害応援協定が8件、民間との協定が13件締結し、先月20日に、ヤマキシさんと「災害時の物資供給に関する協定」を締結されたが、今後どのような計画があるのか問う。

同協定は非常に重要なものと位置づけており、これまで締結してきた災害物資の提供や、災害復旧にかかる協定等に加え、感染防止策等に関連した協定の締結についても考えている。現在、プラント3や、その他に1企業と協定の締結に向け、打ち合わせしており、今後は、近隣の事業所等にもお願いし、応援協定の締結を進めていきたい。



手取川の増水

## 問 災害廃棄物処理計画は

答 住民課長 今年度中に策定

**Q** 国は平時の備えや発生した災害廃棄物を適正かつ円滑に、そして迅速に処理をするために必要事項を取りまとめた個別の「災害廃棄物処理計画」を策定するよう求めている。

町の「災害廃棄物処理計画」策定の進捗状況について問う。

**A** 町では、昨年度に環境省中部地方環境事務所と石川県が実施する「災害廃棄物処理計画策定モデル事業」に参加し、様々な指導を受け、国の「災害廃棄物対策指針」に基づく計画案を既に作成している。

そして、この計画案をもとに、今後、より詳細な検討を全庁的に進めるとともに、松任石川環境クリーンセンターなどの関係機関と協議を行い、今年度中に策定したい。



手取川の流木

## 問 防災訓練の充実と今後の展開は

## 新型コロナに配慮した訓練を行う

❶ 川北町総合戦略にある施策「防災訓練の充実」について、これまでの活動の成果は低いものであった。今後感染防止策も盛り込んだ訓練と備えが必要になってくる。

町はどのような目標と計画をたてられたのか。



## 地区と町職員が連携した訓練

**Q** 消雪装置整備工事の地区分担金割合は川北町土木事業分担金徴収条例に3割以内と定められている。

昨年10月1日施行の要綱では、町道部分は2割、区道部分は10割と定められており、これは条例に合っており、これは改正すべきではないか。

又、この要綱はまだ公開されておらず、町として説明責任があるのではないか。

**問** 区道部分は、条例の対象外とのことだが、区道に消雪装置工事を実施して、この条例を使って2割分担金を徴収したという事実があるが。

地区と協議を重ねるとともに、周知についても、区長会を通じて情報発信を実施する。

**再A** ご指摘の区道というのは、地区主体で開発を行う住宅用地整備地における道路であり、住宅用地整備事業に対する支援要綱において、住宅用地整備地における道路の消雪管路敷設については、地元2割負担と定めている。

区道部分は分担金条例の対象外

**問** 消雪装置の地区分担金割合は

## 問 宅地造成への支援策は

答

土木課長

その都度、関係機関と協議



山村秀俊 議員

Q これまで、宅地の造成・供給に関して、中島地区の例をよく話題にされ、「地区主体の宅地造成については、積極的に支援や、大いに期待する」とのことですが、すばらしい事例があるので、それから、その概要・具体例等について、要約したものを町として、提案なり、紹介してはどうか。

A 役場には、宅地化に関する相談と、上下水道や道路等のインフラ整備に関する情報が集約化されていることから、地区主体の宅地造成への、更なる支援に結びつくのではない。

A 宅地造成への支援策について、これまで、集落周辺で宅地開発が出来ないか、度々、相談を受け様々な協議・検討を継続、実施している。

その協議内容については、開発区域の選定や、道路、インフラ等の整備など地区によって諸課題が多岐にわたっている。

このことから、一定の基準や、目安を策定することではなく、宅地整備における各種機関との手続き等に関して、それぞれの課題に応じた情報を、関係機関と協議し、地区へ提示することが、重要と考えている。

今後も、地区からの相談に対しては、関係各課と連携を密にして、可及的速やかに対応策を、提供できるように、最善を尽くす。

## 問 用水への排水対策等は

答

産業経済課長

冠水予防対策を検討

Q 県道と下先出区の排水口との交差場所は、近年のゲリラ豪雨や集中豪雨等により、水が溢れて、田に逆流することがあることから、地区としては、大変、心配をしているところです。

A 豪雨の際の田への逆流に対する未然防止策、及び、逆流した際の補償対応等、排水関係の対策は。

A 上先出地区から下先出地区に流れる農業用排水路は、各地区の生産組合が、多面的機能支払交付金を活用し、管理を行っている。

近年の台風災害やゲリラ豪雨などで、想定を超える流量となる場合もあるので、予想が極めて難しい状況である。

町としては、冠水予防対策となる様々な排水手段を検討していきたい。



通常時



降雨時 R2・6・26撮影

NEXT

町政を問う（いっぱん質問）

# 問 サンハイム三反田の将来計画は

## 答 副町長 新たな住宅建設構想を検討

**A** 平成22年に、雇用能力開発機構から譲渡を受け、その後10年の用途指定がなされ、本年3月31日で終了した。現在、新たな住宅建設に向けた将来構想を検討している。

**Q** サンハイム三反田は、建設から34年目を迎え、経年劣化による修繕費が年々増加傾向にある。平成22年に県の雇用能力開発機構より、譲渡を受け、用途指定の10年が経過した。個人的には、取り壊して新しく建て替えるのも一つの方法かと思う。

しっかりとした将来計画について町当局の考えを伺う。



坂井 毅 議員



サンハイム三反田

今年度、当初予算に455万円を計上し、今後5ヶ年計画の位置付けで、整備する予定である。

基本設計に向け、住民アンケートや説明会などの意見聴取による事前調査を実施すること考えている。

この事業は、平成16年のサンハイム中島建設以来の町の大規模事業となることから、建築面積やスタイルなど、様々な項目について協議を重ね、国の交付金を最大限活用し、整備していきたい。

# 問 長寿祝金の見直しは

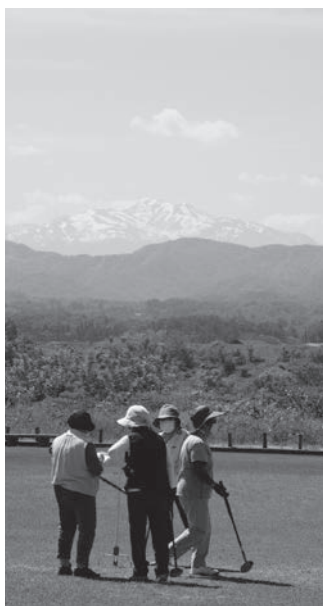
## 答 福祉課長 引き続き検討

**Q** 人生100年時代を迎えて、高齢化社会に対応した福祉対策と、福祉予算の効率化が検討されなければならないと考える。町では、100歳の方に長寿祝金として、100万円の祝金を贈っているが、他の自治体の長寿祝金は、合併以降見直しが図られ、高い金額でも10万円であり、町の祝金は突出している。町では祝金の見直しについて、どのように考えているか。

**A** 町では平成14年より、百歳の誕生日を迎えられた方に、長寿を祝うとともに、これまでの社会に寄与されたことに敬意を表し、お祝金として100万円を贈呈してきた。実際に、受けとられた方はこの18年間で19名。延べ平均1年に、約1人となる。

福祉の町・川北町としては、今後もこの事業を続けたいと考えているが、毎年の予算編成時に、福祉施策の中の課題のひとつとして、検討を重ねている。

今後、町の状態を見極めながら、長寿祝金についても、引き続き検討する。



人生100年時代へ

# 議員の提言は反映されたか？

議員の提言に町当局がどのように対応したか、レポートする。

## 議員は提言した

### 高齢者の自動車事故防止の為に

高齢者の自動車事故が増えている。  
「サボカー」対象の中古車や現所有している自動車に装備する「後付け型ブレーキ踏み間違い装置」を導入したときに、補助金が支給されるような町独自の制度が創設できないか。

令和元年 9 月議会 田中秀夫議員

## 議員は提言した

### 公共スポーツ施設トイレの洋式化を

町の公共スポーツ施設のトイレの洋式化とともに、温水洗浄便座装置の設置を検討できないか。

令和元年 9 月議会 山田勝裕議員

## 新年度予算はこうなった

### 高齢者安全運転装置 設置促進事業補助金

60万円

高齢者（65 歳以上）の踏み間違い急発進等制御装置及びドライブレコーダーの購入・設置に係る費用の半額を補助します。（上限 2 万円）

## 新年度予算はこうなった

### コミュニティ&スポーツ公園 トイレ洋式化工事

60万円

コミュニティ&スポーツ公園トイレの洋式化工事をします。

## 議員は提言した

### 集落内消雪装置整備対策計画

集落内消雪装置の新設、延長、老朽化対策の要望に対して、町全体における井戸及び管路の調査、既設管路の更新や新設等、中長期的な計画を立て進めるとの町方針がある。来年度には調査費等の予算化をして計画をスタートさせてほしい。

令和元年 12 月議会 宮崎 稔議員

## 議員は提言した

### 地区共同墓地の整備・拡張に支援を

近年多くの方がお墓を建てる場所が無いと困っている。

墓地対策は、町民の定住対策としては、なくてはならない施策だ。町としての具体的な対応策を検討願う。

平成 28 年 9 月議会 井波秀俊議員

## 新年度予算はこうなった

### 消雪装置用井戸調査能力 試験委託料

693万円

町内における消雪施設の経年劣化が進み、散水能力が十分に機能していない状況を踏まえ、町内 30 箇所の内、公共施設を除く 18 箇所の消雪井戸等の現状を把握する。

## 新年度予算はこうなった

### 共同墓地の 整備事業費補助金

300万円

各地区の共同墓地整備に関わる費用の一部を補助します。補助対象事業費の 1/3（上限 100 万円）

# みんなの広場

## 中田さん ご家族（三反田）

中田 護さん・高子さん  
ゆかり まどか  
 縁さん(6歳)・円さん(4歳)  
たまき  
 環さん(6ヵ月)



Q 以前のお住まいは？

A 加賀市です。

Q 町に住まいしての感想は？

A のびのびと子育てができて  
 ありがたいです。

Q 町への要望などは？

A 子供と一緒に遊べる公園があったら  
 嬉しいです。

取材者：西田時雄

## 吉本さん ご家族（橘）

吉本 怜史さん・舞さん  
ゆう せい かい せい  
 悠惺さん(5歳)・凱惺さん(4歳)  
こう せい  
 煌惺さん(1歳)



Q 以前のお住まいは？

A 白山市です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 子育てのしやすい町。  
 住みやすいです。

Q 町への要望などは？

A 駅までの交通手段が少ないので、町バスなど子  
 供だけでなく高齢者にとっても、医療や生活ス  
 タイルなどの維持や充実をお願いしたいです。

取材者：坂井 毅

お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111

## 編集後記

新型コロナウイルスで、町民が  
 楽しみにしていた「NH  
 Kのど自慢・川北大会」  
 や「川北火祭り」等の多  
 くの行事が中止になり、  
 非常に残念な思いです。

新聞コラムの中に、「あ  
 んなに親子4人でひとつ  
 になれたことなかったも  
 の。」と家族ドラマ映画  
 の一コマがありました。  
 苦しかった戦争（太平洋  
 戦争）が終わり、生活も  
 豊かになったが、家族そ  
 ろって夕飯を食べること  
 もなくなり、今は懐かし  
 い・・・と。

見方を変えれば、今回  
 のコロナ戦争で、親子の  
 絆が強くなった家族も多  
 くいれば、少し前向き  
 にもとらえたい。

窪田 博記

議会を傍聴しましょう◆ 次回の定例会は9月です。お気軽にお越しください。